VGC-3062（H）+VKC-2862（H）型-R（単棟）

建築面積	35.37m² （10.70坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

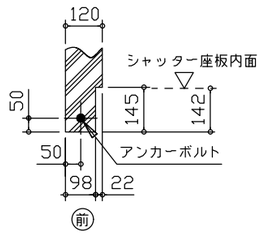
構造耐力上主要な部分の部材

部　材　名	形　状	板　厚	使用材料	有効細長比
前　柱	ロ-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後　柱	ㇷ-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱（左右）	ロ-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
桁　前	⁉-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁　中	⊏-182.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁　後	⊏-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
壁パネル	⌣-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
桁前（P）	⁅-228 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁（P）	⁅-186.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁（P）	⁅-287.5x139	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
前柱(P)・後柱(P)	⊡-85x118	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	165.9
中柱(P)	⊡-85x145	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	151.5

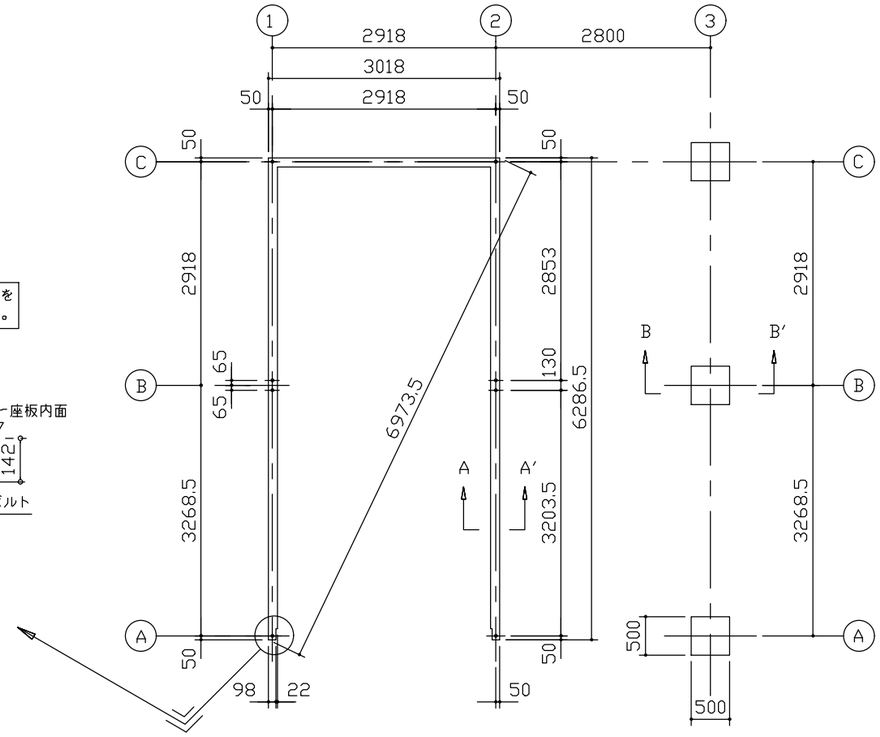
構造耐力上主要な部分以外の部材

部　材　名	形　状	板　厚	使用材料
上　枠	⁅-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下　枠	⊓-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⌣-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間　柱	⊏-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋　根	⁓-88 × 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	⁅-14.5 × 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻　隠　し　前	⊂-130 × 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻　隠　し　後	⁅-122 × 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）
ケ　ラ　バ	⊓-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

シャッター降下面は土間を水平に仕上げてください。



シャッター部分詳細図
（ S =1/20 ）



布 基 礎 伏 図（S= 1/80）

・布基礎断面図　縮尺=1/20

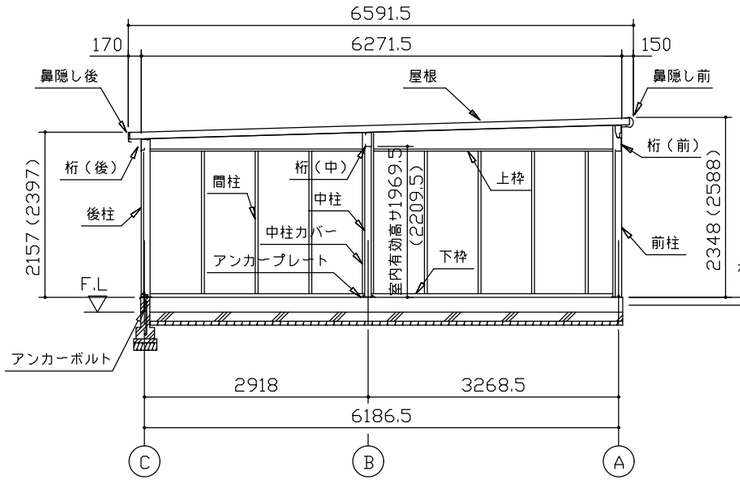
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm² 以上
基準風速 34m/s ，地表面粗度区分Ⅱ）

＜上記条件での参考図です。＞

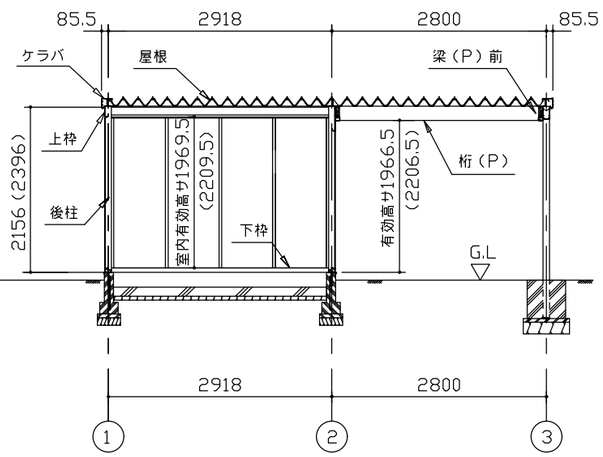
注 1)地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m² 以上）
の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。

注 2)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情に
あわせて設計して下さい。

注 3)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

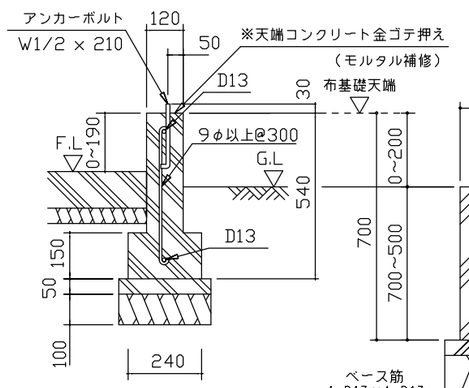


側 面 断 面 図（S= 1/80）

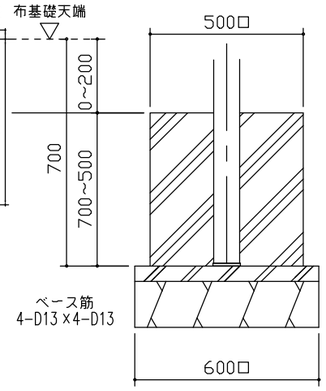


正 面 断 面 図（S= 1/80）

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



A ～ A′断面



B ～ B′断面

名　称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ
機種名	VGC-3062（H）+VKC-2862（H）型-R（単棟）

株式会社 淀川製鋼所